



「脱腸といえはエキサイカイ」



外科

では2019年1月より直腸癌に対してロボット支援下手術を開始しました。以降はロボット支援下胃切除術、ロボット支援下脾切除術と保険収載術式の拡大に合わせて対応してきました。これまでに外科として約300例のロボット支援下手術を施行し、大きな合併症もなく良好な治療成績をおさめております。県内でも有数の施行数であり、ロボット支援下手術の先進病院として認知されております。

ロボット支援 単径部ヘルニア 修復術

2024年にはロボット支援単径部ヘルニア修復術が保険収載される予定です。本邦では保険収載に先駆けて、全国の単径部ヘルニア治療の先進病院を選定し、ロボット支援単径部ヘルニア修復術の短期成績を明らかにする臨床研究が2022年3

月より開始されました。名誉なこと全国17病院に当院が選ばれ、単径部ヘルニア治療で日本を代表する聖路加国際病院から松原猛人先生を招聘して初症例を施行しました。2023年9月までに87例施行し、臨床研究登録症例も全国2位でした。その症例数の多さから複数企業の単径部ヘルニア手術教育施設に認定され、県内だけではなく、北は神奈川県から南は福岡県まで他病院の多くの外科医の先生方の手術見学を受け入れるまでになっております。



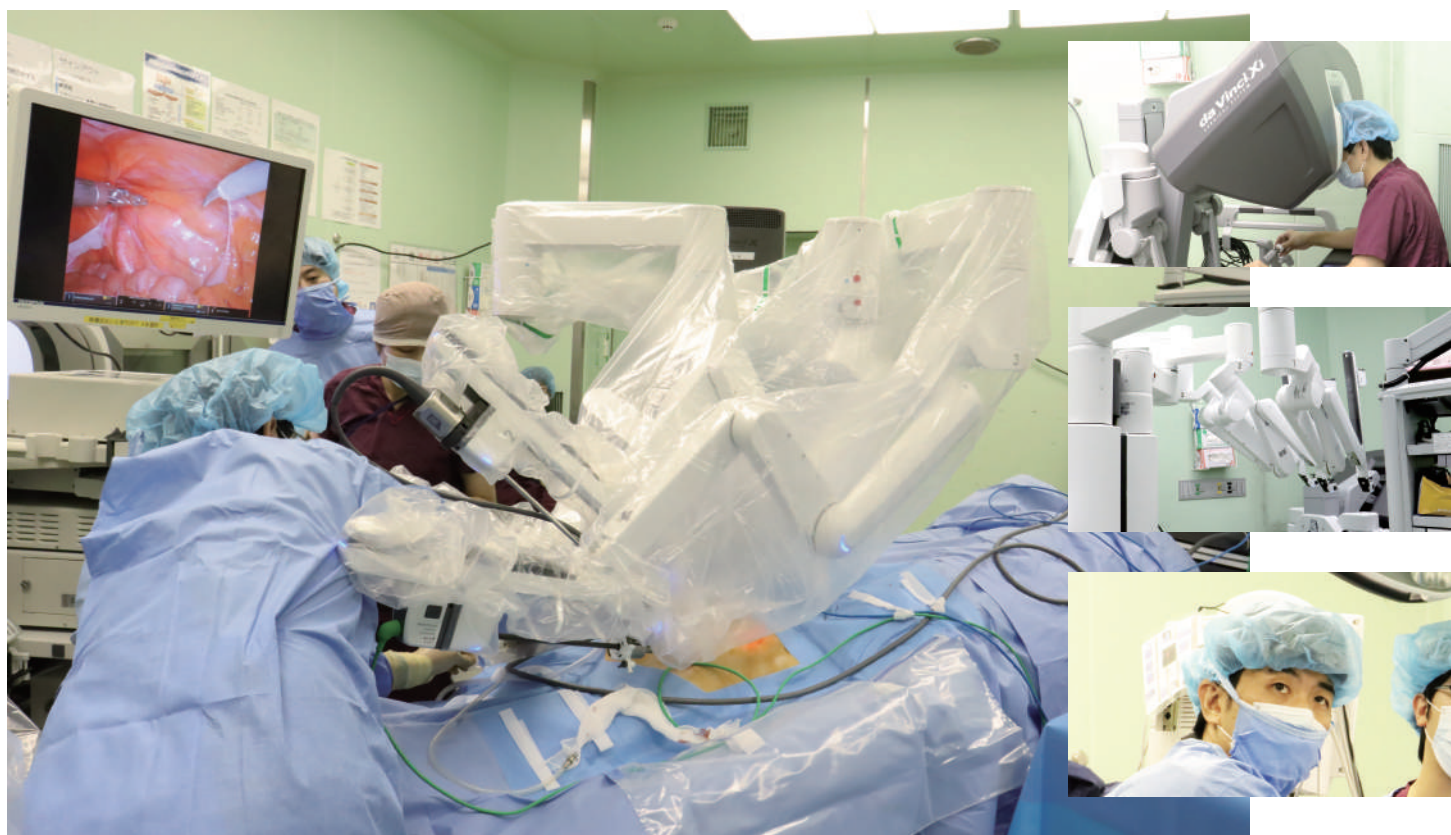
病診連携 NEWS



公益社団法人日本海員救済会
名古屋救済会病院

脱腸といえ ば工キサイカイ を目指して

高齢化社会を迎えて単径部ヘルニア患者数は年々増加しております。単径部ヘルニア治療の需要も増す一方です。当院外科では高齢患者様に対する局所・腰椎麻酔を用いた単径部切開法、全身麻酔下での腹腔鏡手術やロボット支援手術、小児（1歳以上）に対してはより小さいキズで施行する腹腔鏡下ヘルニア門縫合閉鎖術（LPEC法）という、全国では極めて珍しい“四刀流”の治療法を持ち合わせており、患者様の単径部ヘルニアの種類・状態に合わせた最適な術式を提供可能です。また手術創部が離開して脱腸状態になった腹壁瘢痕ヘルニアや臍ヘルニアなどの腹壁ヘルニアに対しても積極的に治療しております。腹部ヘルニア全般で困っている患者様がみえましたら何卒御紹介いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



月	火	水	木	金
山口	水谷(文)	萩原	宇都宮	山東
茂野	鳥居	川合	杉田	中原
河野	加藤(祐)	加藤(祐)	米山	河野
後藤	-	外科医	-	-
〔乳腺〕 木村	〔乳腺・甲状腺〕 柴田	〔乳腺〕 木村	〔呼吸器外科〕 水野	〔乳腺・甲状腺〕 柴田

名古屋救済会病院 外科 部長

みづたに ふみとし

水谷 文俊

一般社団法人 日本ヘルニア学会
・評議員・総務委員会委員
・東海地方会世話人

- ・日本外科学会専門医・日本外科学会指導医・日本消化器外科学会専門医
- ・日本消化器外科学会指導医 ・日本消化器病学会専門医・日本消化器病学会指導医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医・日本ロボット外科学会認定 Robo-Doc Pilot
- ・ダヴィンチサージカルシステム（ロボット支援下手術）術者資格
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
- ・日本 Acute Care Surgery 学会認定外科医・日本腹部救急医学会腹部救急認定医
- ・アメリカ外科学会 ATOM プロバイダー
- ・ICD 制度協議会インфекションコントロールドクター
- ・麻酔科標榜医・マンモグラフィ読影認定医・乳腺超音波読影認定医・臨床研修指導医